

国際陸上界に激震!!

ドーピング違反者続出 !!

2013年8月、モスクワで開催された世界陸上は、男子400メートルリレーではジャマイカが37秒36で制し、最終走者を務めたウサイン・ボルトが史上最多に並ぶ通算8個目の金メダルを獲得しました。

ボルトは2009年ベルリン大会以来の3冠を達成して予想通りの強さを見せて終了したが、その陰で、競うはずだったライバルにはドーピング違反で欠場した大物スプリンターの存在も忘れてはならないだろう。

タイソン・ゲイ (アメリカ) →欠場

男子陸上100メートルで世界歴代2位の9秒69をもつタイソン・ゲイはアメリカアンチドーピング機関(USADA)から、2013年5月16日の抜き打ち検査で陽性を知らされた。

本人は「規則を破るいかなる物質も故意に摂取したことはない。」と話しており、過失があったことを認めつつ、「何者かによっておとしめられた。」と全面否定していましたが、2014年5月2日、USADAからアナボリック・ステロイドの陽性反応検出と発表し1年間の出場停止処分を受けた。処分は2012年7月15日以降の記録は抹消され、これを受けて2012年のロンドン五輪で獲得した銀メダルを米オリンピック委員会に返還している。



アサファ・パウエル (ジャマイカ) →欠場



2013年6月下旬のジャマイカ選手権での検査で興奮薬「オキシロフリン」が検出されたが、故意の摂取は否定している。パウエルのほか、2008年北京五輪女子100メートル銀メダリストのシェロン・シンブソン、男子100メートル9秒78の自己ベストを持つネスタ・カーターら4選手も同じ禁止薬物で陽性になった。選手らはジャマイカのMVPトラッククラブのエリート選手であった。今回、陽性反応を示した選手の中にはジュニア選手も含まれ、若年層にもドーピングがまん延していることが伺える。

パウエルには、2014年4月10日にジャマイカアンチドーピング機関から18カ月の資格停止処分が科された。これに対し、パウエルは異議申し立てを行う意志を示しているそうです。

パウエルには、2014年4月10日にジャマイカアンチドーピング機関から18カ月の資格停止処分が科された。これに対し、パウエルは異議申し立てを行う意志を示しているそうです。

興奮薬「オキシロフリン」とは

2013年から禁止薬物に追加され別名メチルシネフリンと呼ばれています。特定物質として競技会時に禁止される薬物です。

燃焼系サプリメントと言われ、最近ではダイエットサプリメントやダイエットドリンクに新しい素材として使われているようです。ネット検索で簡単にヒットし、以下のような謳い文句で購買意欲をそそるキャッチコピーが乱れ飛んでいます。

★強力な脂肪燃焼パワーを生み出すβアドレナリンアクティベーター

★世界初!! ドリンクで飲むファットバーナー登場!! 抜群の吸収力!!

★メチルシネフリンはエフェドリンと同様に脂肪燃焼やエネルギーアップ効果があるもののエフェドリン特有の脈拍上昇などの危険性がないのが特長です。

★エフェドリンを超える脂肪燃焼効果があり、過激な副作用もない、ダイエットの新素材!!

なんとも、ダイエット実践者の希望の星といった感があります。しかし、アスリートにとっては悪魔のささやきと言っても過言ではありません。

メチルヘキサミン (興奮薬) も要注意!

2011年非特定物質から特定物質に移行された興奮薬として競技会時に禁止される物質です。「ゼラニウム油」、「ゼラニウム根エキス」等と呼ばれることもあり、覚醒剤に類似する中枢神経興奮剤である。スポーツアロマとも呼ばれ、皮膚の不調(アトピー性の場合や擦り傷などの場合)、精神的なバランス調整などで使用例が報告されていますが、日本国内でも違反者が発見されており

「さわらぬ神にたたりなし。」

たとえ「知らなかった」、「うっかり」であってもドーピング違反です。トップアスリートだけの問題では済まされません。サプリメント使用は充分注意をして下さい。たとえ地方大会であってもです。

Global DRO JAPAN オープン!

薬の使用についての迷い、相談に困ったら、まずは検索(<http://www.globaldrojpn.com/>)してみてください。残念ながら、サプリメントや市販薬には対応していませんが、医療用医薬品は約2000種類登録されており、禁止薬物の可否が確認できます。検索不明、結果をどう考えたら良いか?などは下記に相談して下さい。

【薬事情報センター】

TEL: 017-742-8822

時間: 13~17時(月~金曜日)

Mail: aoyaku_di@aoyaku.or.jp 時間: 24時間いつでもOK! (青森県薬剤師会・川村 仁(スポーツ薬剤師))



祝! 2020年東京オリンピック開催決定
クリーンジャパン!
アンチドーピング教育はジュニアからスタート!!